

神奈川県バスケットボール協会主催

## 2020年度 第1回神奈川県U15バスケットボール選手権大会 運営に関するガイドライン

### 参考

- ・JBA公益財団法人日本バスケットボール協会  
バスケットボール活動再開に向けたガイドライン
- ・県中学校体育連盟主催各種大会実施に係る  
新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン

### <大会運営について>

#### 1 事前に行うこと

①コンディション記録用紙（※別紙1）（各学校で行っている健康観察票でも可）

- ・試合当日まで2週間前からのコンディションチェックを行い、記録をとる。（選手）
- ・チーム関係者が練習毎にチェックを行い、体調が悪い場合は練習への参加を見合わせてください。

②健康チェックシート（※別紙2）

- ・以下の事項に該当する場合には、自主的な参加の見合わせをお願いします。

- ・体調がよくない場合(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ・試合当日、選手・チーム関係者から「健康チェックシート」を集め、受付で提出。

③審判用「健康チェックシート（提出用）」（※別紙3）

- ・審判に関しても、2週間前からの健康観察を行い、試合当日、本部に「健康チェックシート（提出用）」を提出する。

④「大会役員健康状況チェックシート」（※別紙4）

- ・参加チーム関係者・審判でもない、当日大会運営に携わる大会役員に関しては大会役員健康状況チェックシートに健康状態を記入する。

⑤新型コロナウイルス対応版チェックリスト確認（※別紙5～9）

- ・大会主催者は「協議会主催者用」（※別紙5）で対応を事前にチェック
  - ・大会会場責任者は「施設管理用」（※別紙6）で対応を事前にチェック
  - ・チーム関係者は「チーム・指導者用」（※別紙7）で対応を事前にチェック  
「参加チーム用」（※別紙8）で対応を当日チェック
  - ・審判関係者は「審判関係大会開催用」（※別紙9）で対応を当日チェック
- \*チェックリストは提出の必要はありませんが、万が一の際には提出をお願いすることがあります。少なくとも3ヶ月は保管をお願いします。

⑥その他

- ・事業等参加者全員のマスク着用
- ・主催者が示す注意事項の遵守（このガイドライン）
- ・事業終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告
- ・事業実施中は可能な限り行動記録を記載  
(感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます。)

## 2 監督会議・代表者会議（本日）

運営に係る注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を伝える。

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・円陣はしない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・ハイタッチ、抱擁を行わない
- ・咳エチケットを守ること
- ・ボトルを共有しないこと
- ・タオルを共有しないこと
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控えること（チーム応援はしない。）

## 3 会場における感染対策

### ○ 全般的なことについて

- ・マスクの着用や身体的距離確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・審判や会場ボランティア（モップラー等）はマスク等の顔を覆うものを着用することが望ましい。
- ・手指消毒液など、試合や練習では広く使用できるように準備し参加選手・コーチ・審判は頻繁に手洗いを実施する。
- ・スポーツ施設・用具器具、その他の備品も消毒を心がける。  
（バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性がある）
- ・審判は、笛の代わりに、電子ホイッスルを使用しても良い。
- ・指導者、ベンチに座る選手は原則としてマスクを着用する。  
（熱中等の健康被害の可能性がある場合、十分な距離をとり、マスクを外すよう指導）
- ・試合前後または試合中は、握手、ハイタッチ等の接触は避ける。

### ○ 諸室等

- ・各部屋にできる限りアルコール消毒液を設置
- ・全てのドア及び窓を開け、3密やドアノブを介した感染を防ぐ。
- ・飲食その他の接待は行わない。飲み物は個人の水筒・ペットボトルとする。
- ・喫煙所は設けない。

### ○ 手洗い場所

※大会参加者や関係者が手洗いをこまめに行えるように以下の対応を行ってください。

- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意することが望ましい。
- ・手洗い後は、自分のタオルで手を拭くことを徹底する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

### ○ トイレ

※トイレについても感染リスクが比較的高いと考えられるので以下の対応を行ってください。

- ・便器のふたを閉めて汚物を流すように表示する。
- ・洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意することが望ましい。
- ・手洗い後は、自分のタオルで手を拭くことを徹底する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

### ○ ゴミの廃棄方法

- ・会場で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用
- ・ゴミはビニール袋に入れて密閉してしばり、廃棄する。
- ・廃棄した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

○ 更衣室・控室

※更衣室や控室を使用する場合、3つの密が揃うため感染リスクが比較的高くなります。

以下の準備を行ってください。

- ・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避ける。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合には、一度に入室する利用者の数を制限する。  
もしくは、別室を用意する。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所  
(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、いすなど)について消毒する。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を開放して常時換気を行う。

<更衣室等利用の注意事項>

- ・利用者はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・更衣室は、滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

○ サイドライン/ベンチ

同会場で複数試合を行う場合は、試合終了毎にベンチの消毒を行ってください。

以下の対応を留意し、準備してください。

- ・サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャル・ディスタンスを  
試合やイベント中に確保しなくてはならない。
- ・テープやペイントで印をつけることで  
選手やコーチのソーシャル・ディスタンスを保つことを促す。
- ・T Oや得点板・モップも、試合後消毒をお願いします。

○ 来場者対応

- ・この大会期間中、すべての会場を「無観客」で行うこととしました。  
(代表者会議から変更。)
- ・公共体育館との打ち合わせの際、来場者に対して、三密を防ぎ、場所を確保  
することが困難であると判断しました。
- ・登録されていない選手、下級生についても、保護者同様、来場を控えてください。  
\*各チーム、スタッフ及び登録選手だけで、試合会場に来場してください。

○ 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

※参加者に対し、以下の留意点や利用者が遵守すべき内容を周知・徹底する。

① 十分な距離の確保

- ・感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(2mが目安)を空けること。  
(介助者や誘導者の必要な場合を除く)
- ・強度が高い運動・アップの場合、呼吸が激しくなるため、より一層の距離を空ける。
- ・マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意する必要がある。

② 位置取り

- ・走ったりする際は、前の人の呼吸の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶの  
ではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取る。

③ その他

- ・運動・スポーツ中に、唾や痰をかくことは極力行わないこと。
- ・タオルの共用はしないこと。
- ・飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け  
会話は控めること。
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。

○ その他

※これらのことを実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。

- ・大会主催者や参加チームは、その点を理解した上で、大会の実施や参加をして  
いただくとともに、関係者への周知を行ってください。
- ・また、特に夏場においては、各諸室の窓、ドアの開放、参加者全員にマスクを  
着用することを義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。  
こまめな水分補給を心がけるとともに、周囲の人との距離を十分取る等の配慮  
を行ったうえで、マスクを外すこともできます。

#### 4 事後対応

- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、保存期間（少なくとも3ヶ月）を明記した上で保存しておくようにしてください。

#### 5 新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応例

##### ① 大会前及び大会期間中の各チームにおける対応

<大会に参加する選手が罹患した場合>

- ・代表者は、参加の辞退を大会事務局に連絡する。

<大会に参加する選手が濃厚接触者となった場合>

- ・その選手以外の指導者、選手で試合参加可とするが、その選手と濃厚接触の疑いがある場合、参加の辞退も含め、慎重に判断し、辞退の場合は、大会事務局に連絡する。

<参加選手の所属する学校で罹患者が出た場合>

- ・対応が決定するまでの間の臨時休業中に大会が実施される場合は、学校長の指示のもと試合参加の辞退を、大会事務局に連絡する。
- ・臨時休業実施の規模及び期間が決定された場合、当該規模及び、期間に当てはまる生徒の出場は認めない。

##### ② 大会当日の各会場における対応

<発熱等の風邪症状、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合>

- ・代表者は怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所で休養させる。
- ・代表者は、会場責任者、大会事務局、または学校管理職へ報告し、指示を受ける。
- ・代表者は、保護者に連絡し、迎えに来てもらうとともに、当該選手を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅休養するようお願いする。
- ・会場責任者、大会事務局は、安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う。
- ・代表者は、選手の居住する自治体のためにしたがって、「帰国者・接触者相談センター」や保健所等に相談するよう家庭に連絡し、経過について代表者に継続的に連絡させ、代表者は会場責任者、大会事務局に継続的に連絡する。

##### ③ 選手が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応<各チームでの対応>

- ・所属する学校は行政機関・保健所の指示に基づき、当該生徒の情報収集、濃厚接触者の特定、他の生徒等及び教職員の健康状態を把握する。
- ・会場責任者及び大会事務局は、保存している、大会当日の時刻表、待機場所、運営の詳細等を学校及び保健所に情報提供する。
- ・代表者は、学校長の指示のもと、保存している、大会当日の時刻表、参加選手の行動記録等を保健所に情報提供する。

\*濃厚接触者の定義：国立感染症研究所 感染症疫学センターホームページ参照

<参考文献>

- 「 JBA公益財団法人日本バスケットボール協会  
バスケットボール活動再開に向けたガイドライン 」
- 「 県中学校体育連盟主催各種大会実施に係る  
新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン 」